

松川村高齢者基本チェックリストとアンケートについて
2021年と2025年に2回回答された高齢者の方へ
信州大学における調査研究にご協力をお願いいたします。

「自治体 KDB システムを活用した要介護認定に影響を与える要因の検証」に関する研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	自治体 KDB システムを活用した要介護認定に影響を与える要因の検証
所属(診療科等)	医学部保健学科理学療法学専攻
研究責任者(職名)	横川吉晴(准教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031年3月31日
研究の意義、目的	介護認定に影響する要因を明らかにすることを目的とした研究で、予防に貢献すると考えられます。
対象となる方	70歳以上で、2021年と2025年の2回実施した高齢者基本チェックリストアンケートにご回答いただいた方
利用する記録	健診データ、年齢、性別、身体所見、検査結果、医療費、介護予防教室参加の有無、基本チェックリスト25項目、要介護認定など
研究方法	KDBとは国保データベースを意味し、市町村での特定健診の結果、医療、介護などのデータです。過去の健診・調査記録より上記の内容を収集し、要介護認定と各種記録との関係の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、松川村よりデータの提供を受けて信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	横川吉晴(医学部保健学科・准教授) 電話:0263-37-2410

既存の健診記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな測定の実施は必要ありません。

大学外へ住民のみなさまを直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、皆様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の健診記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点

については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。